



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

近隣自治体との今後における提携等について

問 災害時の協定の現状と今後について。

部長 協定の現状については、全国49自治体と災害時相互応援または支援協定を締結しており、富士宮市と隣接する9市町村のうち、7市町村と協定を結んでいる。基本的に災害時等の有事の際は、静岡県が被害状況を把握し、県内各市町村の支援、受援を調整した上で、協定の有無に関係なく支援協力が行われる。また、協定を締結している市町村に当市から直接支援要請することもある。なお、新しい支援協定については状況により検討していく。

問 広域道路等の取組における現状と今後について。

部長 現状については、一般広域道路富士富士宮道路、国道469号、新々富士川橋などにおい

て、隣接する関係市町と連携して建設促進期成同盟会を結成して要望活動を行っている。

問 道路の建設促進期成同盟会に名を連ねている市町で、災害協定等を結んでいない南部町について、災害協定を結ぶべきではないか。

部長 今後の南部町との連携については国道469号の整備促進には、特に山梨県との円滑な交通機能の確保が必要不可欠であり、当市として南部町との連携は特に重要と考えている。

市長 南部町と当市は親しくお付き合いをしている。要望活動も一緒に行うことが多く、南部町20周年記念式典にも招待を受けた。災害時の協定については打診をし、当市としては積極的に進めていきたいと考えている。

イオンモール富士宮に設置する期日前投票所について

問 具体的な場所について。

部長 イオン東側の薬局付近屋根付き屋外スペース(ATMやマクドナルド近く)に設置予定。期間は他と同様、投票日前4日間を予定。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介
(無会派)

富士宮市の「水」についての諸問題

問 平成29年度末では、県内下位であった汚水処理人口の普及率と県内順位の変化は何か。

部長 普及率は67.3%から72.3%と伸びたが、順位は、35市町中21位から22位と変化した。

意見 清流の美を提唱している富士宮市としてこの順位は残念である。「合併処理浄化槽設置費補助金」に加えて、県内で、富士市・袋井市・御前崎市が導入している「浄化槽維持管理費補助金」の創設を提案する。

これからの時代の職員採用について

問 自治体運営において優秀な人材確保が一番のポイントと考える。また、新卒一括採用・終身雇用という考え方が変わりつつある中で、今後の職員採用について質問を行う。令和5年度

の富士宮市の職員採用の変更点は何か。

部長 近年受験者が減少傾向で、就職活動が早期化しているため、筆記試験は、公務員試験対策不要で、全国340か所で受験可能な「テストセンター方式」で4月に前倒して行う。

問 今回の変更は楽しみであり、大いに期待したい。さらに、加えて社会人採用枠を検討すべきではないか。

副市長 社会人採用枠となると、組織の中の人員の在り方を検討しなくてはならない。今後も、時代の流れを見据えて優秀な人材を集めるにはどうしたらいいのかということで、改革を進めたい。

中学校の部活動について

問 中学校の部活動は大きな転換点を迎えており、休日の地域移行・中体連県大会へのクラブチームの参加等について、国や県から指針が出た。富士宮市ではどうするのか。

教育長 令和5年度の早期に部活動の在り方検討委員会を設置する方向で進めている。